

山梨労働局発表  
令和6年1月30日

山梨労働局職業安定部  
職業安定課長 齊藤 章司  
主任地方職業安定監察官 長田 正美  
電話：055-225-2857

## 令和4年度のハローワークのマッチング機能に関する 業務の総合評価結果等を公表します

厚生労働省では、ハローワークにおけるマッチング機能の強化を図るため、平成27年度から「ハローワークの総合評価」を実施しています。

これは、全国のハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じて4段階の相対評価を行うことにより、マッチング機能に関する業務の質向上や継続的な業務改善を図ることを目的としたものです。(別添1)

今般、令和4年度の総合評価結果が決定しましたので、県内のハローワーク(5所)において、それぞれ重点的に取り組んだ内容や、今後のサービス・業務改善の取組等をまとめた「就職支援業務報告」(別添2)と併せて、次のとおり公表いたします。

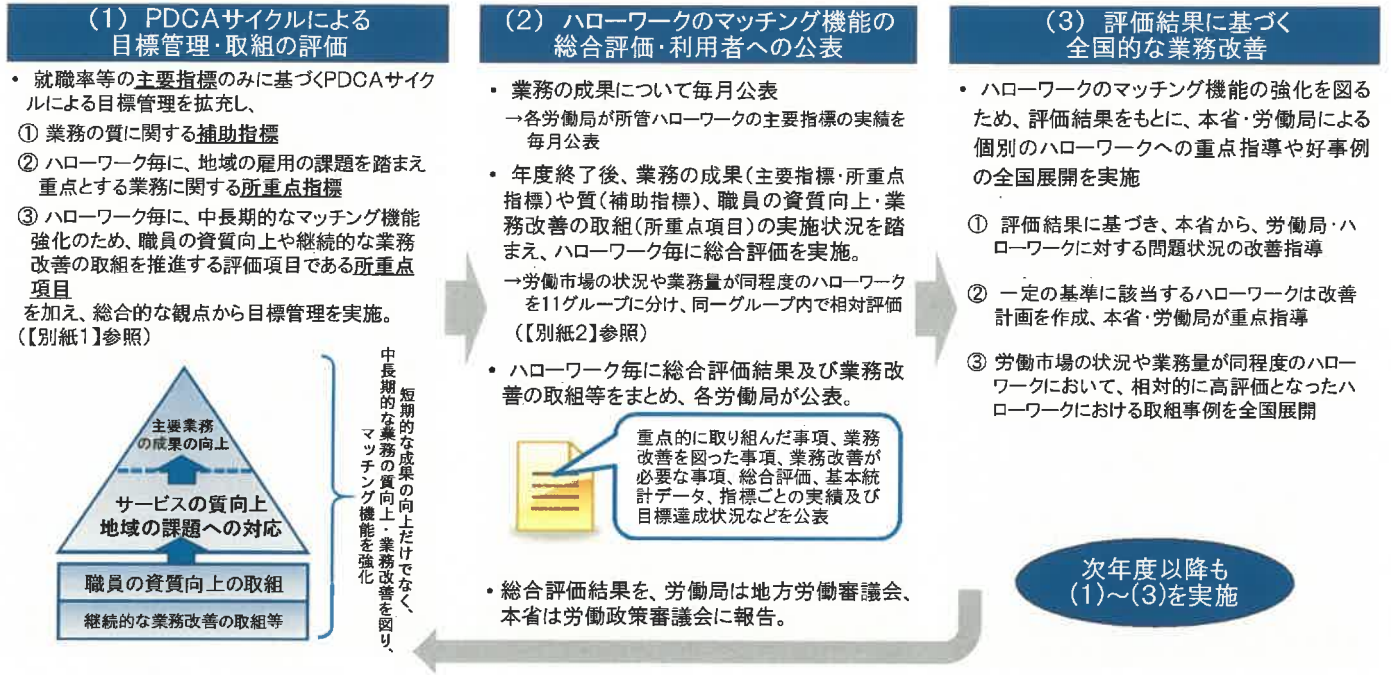
山梨労働局(局長：高西 盛登<sup>たかにし もりと</sup>)及び各ハローワークでは、引き続き、この取り組みを通じて、利用者の視点に立ったサービスの質の向上に努めてまいります。

安定所名	令和4年度 総合評価結果
甲府公共職業安定所	良好な成果
富士吉田公共職業安定所	良好な成果
塩山公共職業安定所	良好な成果
韮崎公共職業安定所	良好な成果
鯉沢公共職業安定所	標準的な成果

※詳細は「就職支援業務報告(令和4年度)」別添2のとおり

# 1. ハローワーク総合評価について

- 平成27年度から、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「**ハローワーク総合評価**」を開始。
- 例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局）にも報告。
- **(1)目標管理、(2)実績公表・相対評価、(3)評価結果に基づく業務改善**といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。



## 【別紙1】ハローワーク総合評価の評価指標の構成(令和4年度)

### 1 全ハローワーク共通の評価指標

#### ◆主要指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、特に中核業務の成果を測定する評価指標

- 就職件数（一般）
- 充足数（一般・受理地ベース）
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

#### ◆補助指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する評価指標

- 満足度（求人者）
- 満足度（求職者）

#### ◆所重点項目

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組に関する評価指標

- 職員による事業所訪問
- 職員による計画的なキャリアコンサルティング研修の受講
- 職員による求職者担当制の実施
- 求人に対する担当者制の実施
- オンライン登録者のハローワーク利用登録者への切替
- 新規求人等の開拓
- 好事例の水平展開
- 他所と連携した広域労働移動の取組
- 地方公共団体との連携の推進
- 各種業務研修の実施
- 業務改善コンクールでの表彰（※隔年実施）

### 2 地域の雇用課題等に応じてハローワークごとに選択する評価指標

#### ◆所重点指標

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点的に取り組む業務に関する評価指標

- 生活保護受給者等の就職率
- 障害者の就職件数
- 就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等（既卒者含む）の正社員就職件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数
- ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついたフリーターの件数
- 公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数
- マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
- 人手不足分野の就職件数
- 生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
- その他、安定所と労働局が調整し設定するマッチング業務指標

## 【別紙2】 ハローワーク総合評価の評価方法

ハローワーク総合評価は、年度単位で実施し、

- ① 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、
- ② 年度終了後に、ハローワークごとに評価指標の実績を点数化し、同一のグループ内で相対評価を行う。

① 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)ごとに、年度当初に定めた目標への達成状況を基に、点数を付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント化係数



〇〇ハローワークの  
A指標のポイント

(例) A指標のポイント化係数が100点、目標達成率が105%とすると、 $100点 \times 105\% = 105点$ がA指標の点数となる。

② 評価指標(主要指標・補助指標・所重点指標)の目標達成率が100%以上の場合等に、点数を加点する。

(例) 上記①のA指標の目標達成率は105%なので、105点に加え、15点を加点。

③ 評価指標(所重点項目)の実施状況を基に、点数を付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合に、取組ごとに点数を付与。

④ ①～③の点数を合計し、ハローワークごとに、総点数を計算する。

〇 11グループのうち同一グループ内で、ハローワークごとに、総点数を比較の上、4段階(「非常に良好な成果」、「良好な成果」、「標準的な成果」、「成果向上のため計画的な取組が必要」)の相対評価を行う。

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

## （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

## ①雇用保険受給者の早期再就職の促進

甲府所では、雇用保険受給者の早期再就職が低調であったため、プロジェクトチームを立ち上げ、各窓口からの意見集約を行い、早期再就職のメリットを受給者が理解しやすいように漫画リーフレットを作成し配布しました。また、失業認定日來所持に職業相談窓口への誘導を強化したことにより、早期再就職者の増加につながりました。（4～6月370件→10～12月505件）

## ②地方自治体との連携強化

甲府所では、地方自治体との連携を重要視し、甲府市、南アルプス市、甲斐市、昭和町と連携した面接会、セミナー等のイベントを積極的に実施するとともに、市担当者への研修会を実施しハローワークへの理解を深め、一体的な雇用対策に取り組みました。

## ③感染症の拡大防止

甲府所では、令和4年度中も、窓口対応後の周辺除菌や職員の体調管理の徹底を図り、安心して利用者に来所していただける体制づくりに取り組みました。

## （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

## ①シニア世代への求人情報の提供

甲府所では、シニア（55歳以上）世代の職業紹介の充実を図るため、シニア世代の紹介実績のある事業所を抽出できる「シニアコード」を設定するとともに、その情報を週単位でとりまとめた情報誌を作成し、求人情報提供を積極的に実施しています。

## ②所内の掲示物の見直し

甲府所では、サービス満足度UPプロジェクトチームを立ち上げ、サービス向上の一つとして「利用者目線」に立った情報の掲示、展示を工夫し、利用者にとって「分かりやすい情報」「足を止めて見てみたいと感じる見せ方」などを検討し、庁舎入口の導入部分から、サービス提供に関する掲示物の見直しを実施しました。

1

## （3）その他の業務運営についての分析等

今年度の人材不足分野（医療・福祉・建設・運輸・警備）については、ミニ面接会・セミナー等のイベントを積極的に実施し、目標以上の回数を開催しましたが、就職実績に十分に反映されておらず、目標の就職件数に達しなかったことから、今後はマッチングに結びつく開催方法を検討し、就職実績に結びつくよう取り組みます。

今年度の障害者の職業紹介については、感染症対策の中で各関係機関との連携、事業所への定着指導などの業務の実施が難しい状況でしたが、今後は感染対策の緩和・撤廃されたことで、対応可能な支援メニューが増えることから、求職者に寄り添ったより充実した支援に取り組みます。

## （4）今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

利用者の利便性を考慮し、オンライン（通信）による各種サービスの積極的な展開

- ・ハローワークインターネットサービスの求人者マイページを利用した求人の提出や更新割合が80%を超えていることから、求人者マイページを活用した積極的なサービス提供に取り組みます。
- ・ハローワークインターネットサービスの求職者マイページ開設率が30%程度にとどまっていることから、オンラインを利用したハローワークサービスの周知を図り、職業相談窓口での登録勧奨を行うとともに、求職者マイページを活用した求人情報の提供及び職業紹介に取り組み、迅速かつ利便性の高いサービスの提供に取り組みます。
- ・ホームページやSNS（LINE、X（旧ツイッター））等を活用してより多くの利用者に対して、ハローワークサービスの案内や面接会・セミナーなどのサービスを広く周知し、利用を促します。

## 2. 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハローワークの 職業紹介 により、 正社員に 結びつい た就職氷 河期世代 の不安定 就労者・ 無業者	生活保護 受給者の 就職率	障害者の 就職件数	マザーズハ ローワーク 事業にお ける担 当者制に よる就職 支援を受 けた重点 支援対象 者の就職 率	人材不足 分野の就 職件数	生涯現役 支援窓口 での65 歳以上の 就職件数	#REF!	#REF!
令和4年度目標	5,260	6,046	1,655	90.0%	90.0%	682	67.9%	387	94.0%	1,232	108		
令和4年度実績	5,370	5,919	1,673	84.2%	96.6%	997	70.5%	400	94.6%	1,211	248		
目標達成率	102%	97%	101%			146%	103%	103%	100%	98%	229%	#DIV/0!	#DIV/0!

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

## （1）特に重点的に取り組んだ事項

## ① 各指標に対する取組

当所では、「雇用保険受給者の早期再就職件数」（早期再就職割合を含む）の目標達成に特に重点を置き、再就職手当を活用しての早期再就職のメリットを独自に作成したリーフレットをもとに具体的に説明することなどにより意欲喚起を図るとともに、求職者担当者制による継続した個別支援に積極的に取り組みました。求職者担当者制については、個々の求職者のニーズに応じた求人の提案など能動的なマッチングや応募書類の作成支援などに取り組んだ結果、支援対象者503名のうち225名の就職（就職率44.7%）に結び付けることができました。そして、これら取組の結果、早期再就職件数、早期再就職割合とも目標を上回る実績となりました。

また、ハローワーク富士吉田に設置している「生涯現役支援窓口」においては、増加傾向にある高齢求職者の就職支援に取り組んでいるところですが、専門職員による個別支援に加えて、当該年齢層の採用に積極的な求人の確保、オンライン企業説明会等の開催などによって、65歳以上の就職件数は目標を大きく上回る結果を残すことができました。中でも、オンライン企業説明会については、参加者から「応募先決定の参考になった」との感想が寄せられるなど好評であったことから、状況に応じて内容を見直しつつ、今後も開催していくこととしています。

## ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業紹介及び求人関係業務に係る所内研修や事例検討会に加えて、ハローワークの職業相談等においては各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政等との共同研修を実施しました。その他、ベテラン職員を講師とし、PDCAサイクルによる業務改善について学習する機会を設けました。

## （2）サービス改善・業務改善を図った事項

全国ネットワークで職業紹介・雇用保険・雇用対策を一体的に行うハローワークと、地域の実情に応じた各種対策を実施する地方自治体が、その地域の課題解決に向けて連携・協力して取り組む事例が増えています。当所においても、令和5年3月に山梨労働局長と雇用対策協

1

定を締結した富士吉田市をはじめ、各自治体と共に就職セミナーや就職面接会などを開催しました。今後も各自治体と意見交換を行いつつ、各種取組を積極的に展開する予定です。

## （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症の影響を特に強く受けた観光関連産業（宿泊業、飲食サービス業、娯楽業など）は、観光需要の回復により人手不足感が急激に高まっている状況にあり、人材確保が経営上の大きな課題となっています。そのため、未経験者にも気軽に職場や仕事内容を知ってもらう機会として職場見学会を開催するなど、増加している求人への充足支援を強化することとします。

また、求職者・求人者マイページの機能や利便性を丁寧に説明するなどして、その利用を更に進め、就職と充足のツールとして一層の活用を図りたいと考えています。

## （4）その他業務運営についての分析等

上記のとおり観光関連産業を中心に当所受理の新規求人数は増加が続いています。一方で、求職者の求める条件等とのミスマッチが小さくありません。求人条件の見直しを含め、求職者ニーズに適った求人の確保にも努めることとします。

## 2 総合評価（※）

良好な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結び付いた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	生活保護受給者等 の就職率	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和4年度目標	2,644	2,286	452	90.0%	90.0%	314	63.3	86
令和4年度実績	2,258	2,000	552	84.5%	95.5%	309	105.9	141
目標達成率	85%	87%	122%	94%	106%	98%	167%	164%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率



## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

## (1) 今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

## ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数、充足件数及び雇用保険受給者の早期再就職の目標達成を最重要と考え、求職者担当者制、求人担当者制及び認定日におけるマッチング・求人提案を中心に各種取り組みを行いました。

特に、新規求職者数は前年度を下回り推移していましたが、新規求人数は前年を上回り推移していたことから、求人担当者制における対象求人件数の目標を年度途中で引き上げるにより対応しました。（対象求人数177件（前年度：54件）、充足数63件（前年度：30件））

また、就職件数の向上のため求職者担当制における対象者及び目標数等の見直しもを行い、支援対象者数812人（前年度：428人）に対して求人情報の早期提供やきめ細かな就職支援等を行いました。（就職件数395件（前年度：176件）、就職率48.6%（前年度：41.1%））

## ② 職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の育成を図る観点から、課・部門を超えたプロジェクトチームを創設し、業務改善や利用者サービスの点検・改善に取り組ましました。また、障害者雇用促進のため、障害をお持ちの方の理解をより深める必要があることから、山梨障害者職業センターの方を講師として研修を実施しました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

利用者の方がコロナ禍においても安心してハローワークの窓口をご利用いただけるよう、所内の換気等の各種感染防止対策を徹底するとともに、企業や自宅において求人提出や求職活動が行えるよう求人者・求職者マイページの活用について、他所の好事例も取り入れ総合案内や担当窓口での積極的な周知に取り組みました。（求人者マイページオンライン利用率95.6%、オンライン登録者のハローワーク利用登録者への切替186件）

1

## (3) その他の業務運営についての分析等

令和4年度は、7月の新型コロナウイルス感染症の感染再拡大以降、各月の新規求職者が前年度を下回り推移した結果、新規求職者数は2,862人（対前年度比：89.7%）と前年度を大きく下回りました。

また、一部に世界情勢等による生産コストの上昇等に不安を抱える企業がある中においても、管内の新規求人数は5,329件（対前年度比：104.7%）、有効求人倍率は1.21倍となっていることから、今後は求人充足サービスを重点として職業相談窓口において求職者のニーズをしっかりと捉えるとともに、職員の求人事業所への訪問等により求職者のニーズから求人条件の改善提案等を行い、積極的なマッチングに取り組むこととします。

## (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

今後も、就職件数、充足件数及び雇用保険受給者の早期再就職の目標達成に向け、求職者担当者制、求人担当者制及び認定日におけるマッチング・求人提案について、毎月分析・改善等の検討を行うとともに、地域の雇用を守るためより多くの方にハローワークを利用していただけるよう、求人者・求職者マイページの利便性を積極的に周知いたします。

また、個別面接・企業説明会について令和4年度は14回開催いたしましたが、令和5年度は昨年度実績以上開催することにより就職件数及び充足件数の向上に取り組むこととします。



## 2. 特記事項

生活保護受給者等の就職率の向上のため、甲州市及び山梨市と就労自立促進事業協議会を開催し、情報の共有や連携体制について協議・確認いたしました。また、山梨市との連携ではハローワークによる市役所内での出張相談を毎週確実に実施しました。結果、就職率112.6%（就職件数116件）と県下でもトップクラスの実績をあげることができました。

## 3. 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 4. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	生活保護受給者等の就職率						
令和4年度目標	1,252	1,004	234	90.0%	90.0%	128	67.9%						
令和4年度実績	1,173	923	202	97.9%	100.0%	151	112.6%						
目標達成率	93%	91%	86%			117%	165%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「（従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

## (1) 今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

当所では、マッチング業務の強化を最重要と考え、特に紹介件数の確保に係る各種取組を重点的に進めることとしました。具体的には、求職者担当者制（双方向型・一方向型）をはじめ、応募書類の添削指導などの個別支援を引き続き積極的に進めるとともに、紹介件数をより意識した相談支援（職員個々が前年同月の紹介件数を上回ることを目標として設定）にも取り組みました。加えて、求人担当者制の支援対象事業所などを職員が訪問し、把握した求人票以上の情報をマッチングに活用したり、マイページを通じた情報提供にも努めました。

求職者担当者制（双方向型）については、非常勤を含む職業相談部門の全職員が効果のあった取組事例を共有し、一丸となって取り組んだ結果、支援対象者668名のうち265名の就職（就職率39.7%）に結び付けることができました。また、応募書類の添削指導等は197名に実施し、97名の紹介就職（就職率49.2%）という実績でした。これら取組は、所全体の就職件数1,616件のうち22%（362件）を占めており、個別支援の効果、重要性を再認識する結果を残すことができました。

加えて、これら個別支援とは別に雇用保険受給者に毎認定日、指定職業相談日（給付制限中の認定日応当日）に前日マッチングした求人を提供するなどした結果、早期再就職割合は前年度同様、高い水準とすることができました。

その他、①希望職種の実確な把握、入力、②求職票の完全記入（登録）、③就職支援セミナーの受講勧奨、④毎相談時のマッチング求人提供、⑤定期的に発行する求人一覧の充実など、改めて基本業務の徹底、強化に取り組みました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

エントランスホール及びロビーの各種情報コーナーを内容ごとに再区分するとともに、何の情報であるかをポップやイラストを用いて表示し、利用者にとって一層わかりやすい掲示・展示となるよう工夫しました。また、ハローワーク 蕪崎のオリジナルのイメージキャラクター「ふく よんだろう」を作成し、所作成のリーフレットや求人情報、所内掲示物等に掲載するなどして、やわらかいハローワークのイメージ発信に取り組みました。

1

## (3) その他の業務運営についての分析等

求人情報を入手することを目的に来所する求職者は以前に比べて大きく減少しています。また、新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しなかったこともあって、極力来所を控えようとする求職者も少なくない状況が続いていました。このため、(1)にも記載した取組の中でマイページ等を通じたマッチング求人の提供や電話相談などを積極的に実施してきましたが、新規求職者数、相談件数、紹介件数とも前年度より減少し、結果、就職件数や充足数も減少するという様相を呈しています。

この状況から抜け出すには、オンライン登録者も含めて求職者をいかに確保し、いかに利用してもらうか（相談・紹介につながるか）を今まで以上に念頭に置いて業務を展開する必要があると考えています。

## (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

新型コロナ感染症の影響もあり、今までに経験のない業種・職種への再就職を検討する求職者も少なくない中、応募前職場見学を通じて求職者の就職と求人者の人材確保につなげるため、「応募前職場見学可能求人」の確保を進めているところですが、就職支援メニューの一つとして求職者への周知等を更に強化することとしています。

また、マッチング求人や各種情報の提供のためにも求職者マイページの開設、利用を引き続き勧奨するとともに、求人者にもメリットを説明してマイページの開設を更に進めることとします。

さらに、職業相談、各種セミナー、企業説明などの方法の一つとして、オンラインによる実施を促進することとしています。

## 2. 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	④ハロー ワークの職 業紹介によ り、正社員 に結びつい た就職水河 期世代（35 歳～54歳） の不安定就 労者・無業 者の件数	②障害者 の就職件 数	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!
令和4年度目標	1,533	1,406	271	90.0%	90.0%	174	103						
令和4年度実績	1,616	1,435	271	85.1%	100.0%	166	110						
目標達成率	105%	102%	100%			95%	106%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「（従来）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「（従来）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

## (1) 今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

## ① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要課題と考え、職業相談の充実や就職機会の確保のための取組などを行いました。特に、コロナ禍で休止していた富士川就職説明会を4年ぶりに開催したところ、参加企業5社（平成30年度は7社）に対し、参加者20名（平成30年度は29名）、うち就職者が4名（平成30年度は5名）と一定の効果があり、参加者および参加企業の双方から好評でした。

## ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、所内ケース会議を定期開催することとし、職業相談の「見える化」により職員の相談スキル向上にも役立つよう工夫しました。所内ケース会議は合計33回実施しましたが、職員からは「支援の方向性が整理できてよかった」等の声がありました。

## (2) 前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

前年度まで各種説明会などの対面型イベントを休止していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたことから再開しました。仕事を探している方向けの就職応援セミナーや就職説明会を外部会場で実施しましたが、参加者アンケートには好意的な意見が寄せられました。

1

## (3) その他の業務運営についての分析等

令和4年度の紹介成功率は42.3%と、就職件数の目標を達成するための紹介成功率の参考値（42.6%）を下回り、就職件数の目標を達成することができませんでした。今後は、令和5年度の紹介成功率の参考値（42.5%）を目指し、就職件数の向上に努めます。

## (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

当所の庁舎は狭隘なため、求業者が求職者に対して直接説明できる会場が所内にはありません。また、掲示物等による情報提供スペースも不足していますが、これらの課題は来年7月の新庁舎への移転により解消される見込みです。

令和5年7月以降は所内でのミニ面接会等の開催が可能になりますので、求業者のご希望に添えるよう会場を確保します。

また、周知用のポスターやパンフレット等につきましても、必要な方に確実に情報が届くよう、掲示方法の見直しを進めていきます。

## 2. 総合評価（※）

## 標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	④ハロー ワークの職 業紹介によ り、正社員 に結びつい た就職氷河 期世代の不 安定就労 者・無業者 の件数	①生活保 護受給者 等の就職 率	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!
令和4年度目標	1,051	762	201	90.0%	90.0%	95	67.9%						
令和4年度実績	1,004	719	207	86.0%	95.6%	79	83.8%						
目標達成率	95%	94%	102%			83%	123%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来)の紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来)の紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。